



五泉市 地域おこし協力隊

令和6年3月15日  
移住コンシェルジュ 中野



# コンシェルジュ通信 vol.11

～ のんびり・のびのび 五泉暮らしをお届けします～



移住定住サイト



協力隊Facebook



協力隊Instagram



皆さん、こんにちは！店頭でいちごが並び始め、もうすぐやって来る春が待ち遠しいです。新潟では「越後姫」という品種が有名でとても人気があります。私も初めて食べた時はその美味しさに感動しました！先日、集出荷場にお邪魔をし、「越後姫」の出荷の様子を見学させていただきました！！

## えちごひめ 越後姫とは



「越後姫」は新潟の気象条件に合わせて作られた品種です。

「可憐でみずみずしい新潟のお姫様のような」とのことから、平成6年に命名され、平成8年に品種登録されました。

濃厚な甘みに程よい酸味、香りも高く果汁が多いのが特徴です。

果肉がとても柔らかく、一度食べたら忘れられない逸品です。

ただ、柔らかいがゆえに傷みやすく取り扱いが難しいため、県外には多く出回っていません。

(五泉市HPより)



五泉市木越地区は、新潟市、新発田市とならぶ「越後姫」の有数の産地です。木越苺出荷組合の塚野組合長のお話しでは、現在22軒のいちご農家さんが出荷をしているそうです。現在は「一番花」といって一番最初に実った果実を出荷している時期です。4月頃から2番花が実り、その時期が最も生産量が多い時期とのこと。3番花、4番花…と続き6月頃まで出荷されます。



今回、お話を伺ったのは・・・

## 【木越苺出荷組合 塚野組合長】

塚野組合長が越後姫の栽培を始めたのは、今から17～18年前。難しさもあるけれど、越後姫がたくさんできた時は嬉しい。消費者に喜んで食べてもらいたいという想いで、出荷しているとお話ししてくださいました。五泉市内にはいちごの専業農家さんはいないそうで、お米や里芋も作っている方が多く、苺の収穫と田植えの時期が重なる4月は大忙しなのだそう。なかなか聞くことができない生産者さんのお話を聞くことができて楽しかったです。塚野組合長、ありがとうございました！



木越苺出荷組合  
塚野組合長



出荷の様子は裏面へ続きます！



## 越後姫出荷の様子



集出荷場には、越後姫が入った箱がサイズ別に並べられていました。一度にこんな多くの量のいちごを見るのは初めて！あま〜い香りが漂ってきて幸せな気分でした。



3Lサイズの越後姫。1番花の中でも早く実ったいちごほどサイズが大きいそう。少し前までは、4Lサイズの越後姫が出ていたそう。大きさは違って味は変わらないそうです。



いちご農家さんたちが、越後姫が入った箱を5つ重ねて持って順々にコンベヤーに運びんでいきます。



蓋を被せたら、機械でPPバンドを巻いていきます。素晴らしい連携プレーで次々と越後姫が梱包されていきます。



サイズ別に置いて完成。農家さんたちはここまで。早朝から収穫〜出荷、お疲れ様でした！2月の出荷は週3日ですが、3月からは毎日出荷になるそうです！



この日は、5,700パックの越後姫が県内5カ所の卸売市場に出荷されます。翌朝、市場に出され、お昼過ぎからスーパー等の店頭で並びそうです。

今回、出荷の様子を見学させていただいたり、お話を伺ったことで、私たちが普段、新鮮で美味しい青果物を頂けているのは、農家さんたちのおかげだということを改めて感じました。

また、こんなにも美味しい「越後姫」が五泉市で生産されていることを誇らしく思いました。

市場から先は、どこに行くのかは分からないようなのですが、木越莓出荷組合の越後姫を見かけた際には、ぜひお手にとってみてくださいね。



## おまけ (めぐりえ)

ごせんししよくいくすいしん  
五泉市食育推進キャラクター

### いちごっち

ごせんし しよくいく も あ  
五泉市の食育を盛り上げる  
ために活躍中！

